



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創立 1969. 5. 30 会長 西谷 雅之
幹事 岡部 倫正 会報委員長 中辻 康裕

Rotary  BE THE INSPIRATION
インスピレーションになろう
2018-2019年度国際ロータリー会長 パリー・ラシン

R I 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2400

2019-1-11

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

謹 賀 新 年



年頭のご挨拶

会長 西谷 雅之

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には良いお年を迎えられたこととお喜び申し上げます。今年度もいよいよ下半期に入りました。51年目に向けて、所謂2回目の初年度に向けての準備の年と位置付けて各委員会にはご無理を申し上げております。上半期で準備したものが下半期で花開きますよう、より一層のご協力を切にお願い申し上げます。特に50周年の記念事業とも密接に絡むRAC創設準備委員会・IT化推進委員会には益々の奮起を期待しております。

また、当クラブの将来がかかっているといっても過言ではない会員増強委員会は今まで以上に頑張ってもらわなくてはなりません。しかしながら、これらを達成するためには会員の皆様のご協力なしには叶いません。5月には50周年記念式典・祝宴も控えております。会員の皆様のより一層のご理解・ご協力をお願い申し上げますと共に、50周年を盛大にお祝いし、今年度が実りある年にいたしましょう。

1月は職業奉仕月間です!!

本日の例会

1月11日(第2例会)

- 例会時間・場所変更 18:00 ~
シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間
- 新会員入会式
石濱宏章氏(建物賃貸)
尾崎 巖氏(ゴム資材)
- 表彰・ホームクラブ連続皆出席
奥田(70) 武田(220) 各会員
- お祝・年男
今井 山口 井上 尾崎(敬) 奥田
山本(英) 宮田 岡部(倫) 各会員
- ・ 卒寿
鈴木会員
- ・ 米寿
佐々木 遠田 各会員
- ・ 喜寿
永井会員
- ・ 古希
三木 村上(泰) 岡部(泰) 梅崎
各会員
- ・ 還暦
宮田 山本(英) 各会員
- ・ 誕生日
岡倉 遠田 尾崎(巖) 各会員
- ・ 結婚記念日
村上(泰) 山本(英) 村上(正) 各会員
- ・ 入会記念日
岩永 佐伯 各会員
- ・ 会社創立記念日
今岡 岡倉 山本(英) 各会員
- 年頭挨拶 西谷雅之会長
- 年男の辞
今井 山口 井上 尾崎(敬) 奥田
山本(英) 宮田 岡部(倫) 各会員
- 理事会 17:00 ~ 17:40
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

次週のお知らせ

1月18日(第3例会)

- 卓話 「職業奉仕月間にちなんで」
パスト会長 光信昌明会員
(濱田由弘職業奉仕委員長担当)
- クラブフォーラム(職業奉仕)
13:40 ~ 15:00
シェラトン都ホテル大阪 3階 葛城の間
- 食膳 〈中国 円卓料理〉

次々週のお知らせ

1月25日(第4例会)

- 卓話 「私の習ったロータリー」
光信昌明会員

先週の記録

12月20日(第3例会)

- 出席報告
出席会員 36 名 (内免除会員 8 名)
会員総数 47 名 (同上 17 名)
ゲスト 1 名

ヴィジター 0 名

計 37 名

ホームクラブ出席率 94.74 %

12月7日(第1例会) 補正出席率 100% (MU 4 名)

● ゲスト&ヴィジター(敬称略)

テチアナ・セゾネンコ(米山奨学)

◆ 西谷会長 年末家族会挨拶 ◆

会員のご家族の皆様、年末家族会へのご参加ありがとうございます。ご承知の通り今年度は当大阪城南RCの創立50周年の年であります。来年5月には記念式典・祝宴も予定されております。その際も是非奮ってご参加ください。奥田親睦・出席委員長はじめ親睦・出席委員会の皆様には計画・準備と大変お世話になりました。また、リーガロイヤルホテルのスタッフの方々にも大変お世話になっております。厚く御礼申し上げます。とりわけ、エンターテインメントをお引き受けいただきました中辻会員の奥様 梨里香様、司会をご担当いただく奥田会員の令嬢 純子様には厚く厚く御礼申し上げる次第です。

それでは今年最後のクラブ行事、大いに楽しみ来年への英気を養いましょう。良いお年をお迎えください。

◆ 奥田親睦・出席委員長 年末家族会挨拶 ◆

皆様こんばんは。親睦・出席委員長の奥田でございます。日頃から、会員はもとよりご家族の皆様にも、当クラブの親睦活動にご協力いただきまして、誠に有難うございます。

また本日は、このように多数の皆さまにご出席いただき、厚く御礼申し上げます。今年度は、当クラブ50周年の年です。来年5月の50周年記念式典は、例会でお世話になっているシェラトン都ホテル大阪で催しますため、今回の年末家族懇親会は、こちらのリーガロイヤルホテルにて開催する運びとなりました。

またこの度は、「会員の手作りでアットホームな家族会を」というコンセプトで準備して参りました。中辻会員の奥様の梨里香様によるシャンソンコンサートをお楽しみいただき、司会は娘の純子がさせていただきますので、皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

そして恒例のビンゴ大会やお楽しみ抽選会も企画し、多数の景品をご用意しております。どうぞ最後までお楽しみください。

それでは、短い時間ではございますが、年の瀬のひとときをご家族とともに親睦の輪を広げていただきますようお願いして、開会の挨拶とさせていただきます。

◆ RI第2660地区 地区大会 奨学生発表 ◆



(2018.12.7 於:大阪国際会議場)

米山奨学生(2016学年度)

張 淵さん

この度は国際ロータリー第2660地区、2018年度地区大会にお招きいただき、ありがとうございます。

こんな大きな舞台でお話する機会など今まで無かったので、とても緊張しています。でもこんな機会はめったにないので、とってもワクワクしています。



▲ 奥田親睦・出席委員長 開会挨拶



▲ 西谷会長 挨拶



▲ 光信会員 乾杯挨拶



▲ 司会 奥田純子様

年末家族会スナップ



▲ シャンソンライブ 梨里香様



▲ ライヴ花束贈呈



▲ BINGO 1位賞



▲ チャイルド賞



▲ ローターソング「手に手つないで」斉唱

私は2016年度に2660地区米山奨学生として、大阪城南ロータリークラブでお世話になりました。この12月で私も社会人になって1年半ほどになりますが、大阪城南ロータリークラブでお世話になった1年間は私の人生の中でとても大切な出来事となりました。

そもそも米山奨学生に応募したきっかけは、奨学生になれば奨学金がもらえるからという単純な動機からでした。そしてオリエンテーションでカウンセラーから「例会は最低月1回出席するのが義務ですが、可能であれば毎週出席してください。」と言われました。何だか面倒だなとも思いましたが、「美味しい料理も食べられるからね。」という言葉に惹かれて毎週出席することに決めました。なるほど私が普段食べている食事よりは、はるかに高級で美味しい料理でとても嬉しかったです。でも毎週の例会に出席しているうちに、どんどんロータリーの魅力に惹かれていくようになりました。

私は例会の始まる2時間前には会場に行って事務局のお手伝いをし、1時間前には立礼をして皆さんのお迎えをしていたのですが、その時に日本の伝統的な食べ物の蕎麦の作り方を教えてくれる方や、日本の美しい観光地の写真を持ってきて説明してくれる写真の好きな方、また私に中国語を教えてくれと話しかけてくれる方もいました。日本語がまだ上手に話せない私にもわかるようにとても丁寧に話してくれました。そして「いつもご苦労さま」と私に感謝の言葉をかけてくれました。おかげで日本の素晴らしい風景や文化を知ることができました。例会中は毎週色んなテーブルに座って、食事をしながらお仕事の話を聞かせてもらったり、自分の学生生活や就職活動の悩みなどを聞いてもらったりして私自身大きく成長出来たと感じています。例会が終わる時には「チョウちゃん頑張ってるね。」と励ましの言葉を掛けてくれました。皆さん自分には関係のないことなのに私のために一生懸命になってくれて、そして感謝の言葉を掛けてくれます。感謝しなければならないのは私のほうなのに。

「感謝」ということばを辞書で引いてみると「感」は「物事に接して生じる心の動き」、「謝」は「わびる・こと

わる・礼を言う」とあります。「感謝」とは「何かをしてもらったことに対してありがたいと心が動き、言葉にして伝えること」だと知りました。ロータリアンの皆さんはそれを私に伝えたいのだと分かりました。

「感謝の心」と同じく、私の米山奨学生生活のなかで深く学ぶことができたものに「寛容の精神」があります。それまでの私は、思ったことは直ぐに口に出して相手に言うのが当たり前で、言ってあげることが相手のためだと思っていました。そして相手のために言ってあげることが優しさであり、それが寛容でもあると思っていました。中国での「寛容」とは相手の失敗に対し許してあげる心の広さを言い、立場でいうと許すほうが上の立場のような感じです。それに対し日本、とくにロータリアンの皆さんは相手と同じ目線に立って受け入れてくれた「寛容さ」があるように思います。ロータリアンの皆さんは私の言う事をいつも静かに聴いてくれました。

例えば私が就職活動で良い結果が出なくて悩んでいる時期にこんなことがありました。第1志望の会社の内定がもらえず、自分の志望とは違う安易な方向への就職を考えていました。そのことをカウンセラーに話すと、静かに私の話を全て聴いてくれて、それを否定することなくうなずいてくれました。そして「なぜその業界で働きたいのか?」「そもそも働くとはどういうことなのか?」をレポート用紙に二人で書き出して考えてみました。そうして書いているうちに私は、自分の仕事に対する考え方が、最初の考え方からブレていることに気付きました。

カウンセラーは私の意見を否定するのではなく、私と同じ目線で一緒に考え、私自身が答えを出すよう導き出してくれたのです。

寛容の「寛」は「ひろい」とも読みます。容は「容器」の容で器(うつわ)に「入れる」という意味です。「ひろい心で相手を受け入れる」これがロータリーの寛容の精神であると気付きました。

今でもその頃の事を思い出すと、私は感謝の気持ちが溢れてきます。私を米山奨学生として選んでいた

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

だき、大阪城南ロータリークラブでお世話になり、ほんとうにありがとうございました。そして私を日本に行かせてくれた両親にとっても感謝しています。

こうしてロータリアンの皆さんから「感謝の心」と「寛容の精神」の大切さを学ぶことが出来て、社会人としての今、私が常に心がけていることは「相手の立場を考えて、その人のためになるように尽くす」ということです。

私は今、ホテル業界で働いていますが、毎日フロントに立っているといろんなお客様が来られます。チェックアウトの際にお客様はこのホテルに満足されたかどうかと心配になります。皆さんは最高級のサービスを提供するホテルと言えば、それは「リッツカールトンホテル」だと言う方が多いのではないのでしょうか。施設は勿論のこと、ホスピタリティの質の高さも評判のホテルです。リッツカールトンの精神に「自分自身がハッピーであれば、人もハッピーにしてあげたい」のが自然な気持ちでしょう。」という考えがあるそうです。まさに私の思う「相手の立場を考えて尽くす」ものに通ずるなあと思いました。私の勤めているホテルはビジネスホテルで、リッツカールトンとは施設は全然違いますが、ホスピタリティは人が提供するものだから、リッツカールトンと同じことができると思います。それ以来私はクレームのあったお客様に対応する時に、「もしリッツカールトンならどういう対応をするだろうか？」を考えるようにしています。

そうは言っても理不尽な要望を依頼するお客様もいます。めっちゃくちゃ腹の立つこともたくさんあります。でもそんな時こそロータリーで教わった「寛容の精神」を思い出すように努めています。

仏教のことばに「他人の幸せを、自ら望んで探し求めなさい」というのがあります。

儒教には「あなた自身が望まないことを他人にはならない」とあります。

この話を先日、元カウンセラーにお会いした時に話したら、その考えはロータリーの基本理念「最もよく仲間に奉仕する者、最も多く報いられる(He profits most who serves his fellows best)」と同じだねと聞きました。

私はロータリアンの皆さんからこの精神も教えてもらっていたのだと、改めて思いました。

ちなみに「情けは人の為ならず」という日本のことわざがありますが、私はずっと「情けを掛けて甘やかすとその人の為にならない」という意味だと思っていました。そうじゃないと最近知って恥ずかしかったです。

日本のことわざは難しいです・・・(^ ^)；

私は何かいいことがあったときにニコニコをするように心がけています。こんないいことがあったのも、きっとどこかで私を応援し支えてくれている人がいるからだと思います。その感謝の気持ちを伝えたくてニコニコをしています。そうするとクラブの皆さんから感謝のメッセージが届きます。大阪から私の勤務する東京まで会いに来てくれる方もいます。感謝の連鎖反応ですね。この連鎖がもっともっと大きく、グルグル回れば、みんな笑顔で過ごせる世界になるのかなと思っています。

また奨学生を卒業した後は、米山学友会の一員として、日本全国の学友と国際文化の理解と交流をして、絆を深めることが出来ています。1年半前に大阪から東京に一人でやってきて、知らない地での生活はとても不安でしたが、東京の学友の皆さんの支えがあって本当に嬉しかったし、心強かったです。これからは私が、今後学友になる後輩たちを応援していく番だと思っています。どんどん米山学友の輪が広がっていけば良いと願っています。

国際交流と言えば、2020年には東京オリンピックが開催されます。私の勤務するホテルにもたくさんの外国人が宿泊されると思います。外国のロータリアンの方も宿泊されることでしょうか。その時には自分が奨学生としてロータリーで世話になったことや、「感謝の心と寛容の精神」を学んだことを紹介できればと思っています。英語は苦手ですが・・・(^ ^)；

また、米山学友として東京オリンピックに何か貢献できることがあれば、進んで参加したいと思います。滝川クリステルさんが言った「お・も・て・な・し」は、日本人の感謝と寛容の心が表された素晴らしく、そして豊かな言葉だと思います。東京オリンピックの成功を心から祈りつつ、その少しでも自分が関われば幸いです。

社会人になってまだ1年半ですが、今は毎日が忙しく、そして楽しく、充実しています。でも、これからの長い人生で、多くの壁に道をさえぎられることがあると思います。迷うこともたくさん出来て自分の軸がブレる時もあると思います。そんな時でも「真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めているか、みんなのためになるか」を忘れずに、「感謝と寛容の心」を持って頑張っていきたいと思っています。

そしていつか私もロータリアンになれる日が来ると信じています！

ご清聴ありがとうございました。

◆ チャレンジ100 ◆

各月の最終例会日は、全会員に出席を求める「チャレンジ100」の日です。

I miss you.

今岡 今井 中本 永井 岩永 山本(智)

各会員

(編集担当 金山・中辻)

にこにこ箱

12月ニコニコ合計 122,000円
ハット合計 23,000円

上期 ニコニコ合計 1,104,258円
ハット合計 167,000円

会員増強にご協力を!!